

2節 加法と減法

めあて 2つの数のたし算を考えよう!

P.18

たし算のことを^{かほう}加法という。
加法の結果が^わ和である。

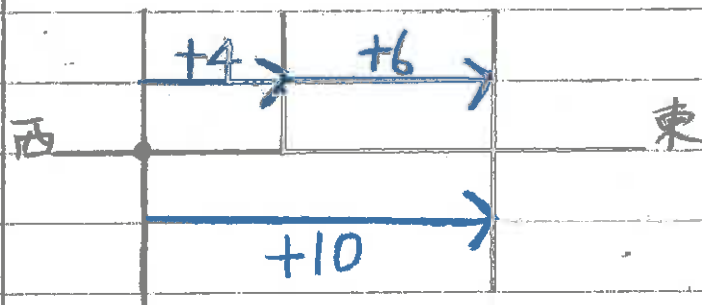
例1

(1) ⁷⁰⁹²+4 と ⁷⁰⁹²+6 の和

$$(+4) + (+6)$$

$$= +(4+6)$$

$$= +10$$

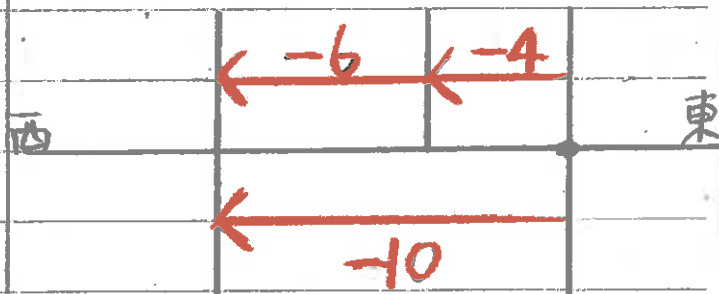


(2) -4 と -6 の和

$$(-4) + (-6)$$

$$= -(4+6)$$

$$= -10$$



和の符号は2つの数の共通の符号になり、絶対値は2つの数の絶対値の和になっている。

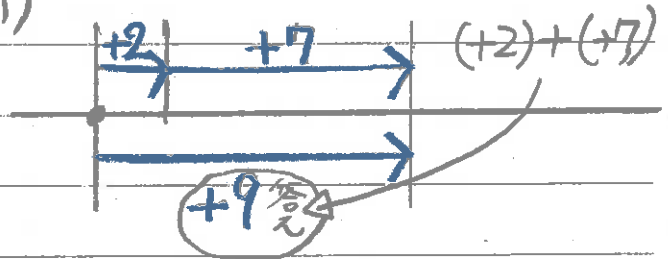
P. 18 たしめ 1

<解説>

(1) $(+2) + (+7)$ 同符号どかし (1)

↓ 2つの数と同じ符号
 $= \oplus (2+7)$
↑ 絶対値の和

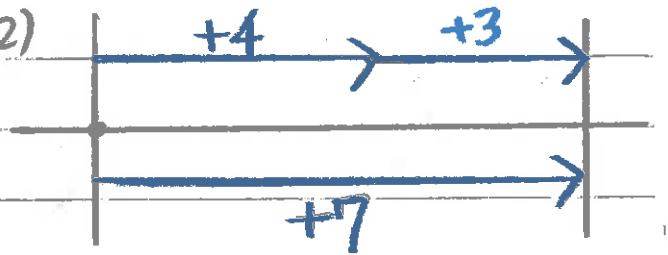
$= +9$



(2) $(+4) + (+3)$ 同符号どかし (2)

↓ 2つの数と同じ符号
 $= \oplus (4+3)$
↑ 絶対値の和

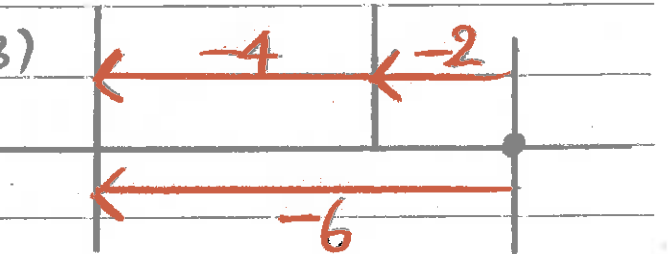
$= +7$



(3) $(-2) + (-4)$ 同符号どかし (3)

↓ 2つの数と同じ符号
 $= \ominus (2+4)$
↑ 絶対値の和

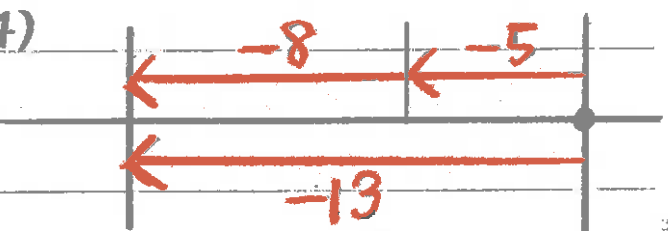
$= -6$



(4) $(-5) + (-8)$ 同符号どかし (4)

↓ 2つの数と同じ符号
 $= \ominus (5+8)$
↑ 絶対値の和

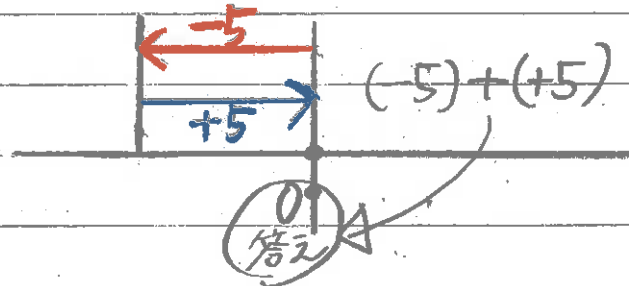
$= -13$



めあて 正負の数の加法の計算をしよう!

P.19

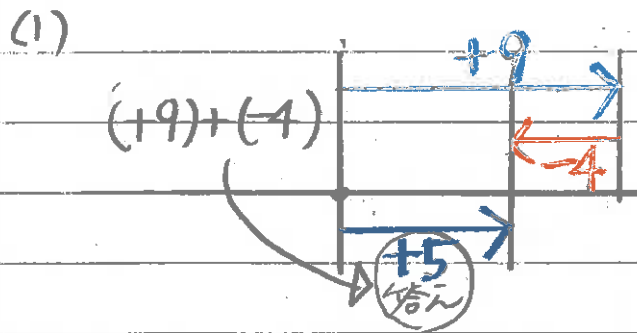
例2 -5 と $+5$ の和
 $(-5) + (+5)$
 $= 0$



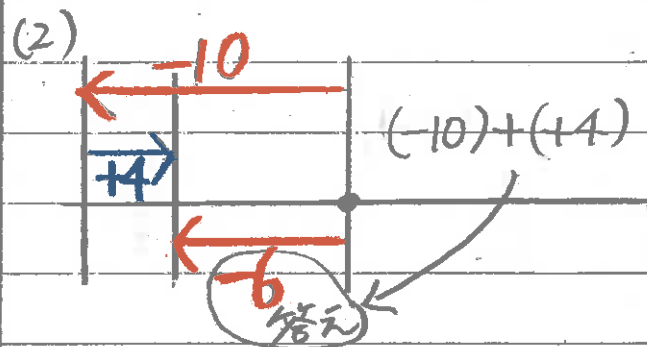
絶対値の等しい異符号の
2つの数の和は、0である。

例3 異符号の数の加法

(1) $+9$ と -4 の和
 $(+9) + (-4)$
 $= +(9-4)$
 $= +5$



(2) -10 と $+4$ の和
 $(-10) + (+4)$
 $= -(10+4)$
 $= -6$



和の符号は絶対値の
大きいほうの数の符号になり、
絶対値は、絶対値の大きいほう
から小さいほうをひいた差に
なっている。

教科書P.19までやら、

数学スキルP.8の『⑤正の数・負の数の加法①』
をやろう!!

P.19 たし算の2

(1) $(+4) + (-3)$ 異符号どうし (2) $(+7) + (-9)$ 異符号どうし

絶対値が大きい方の符号
 $= \oplus (4 - 3)$
↑ 絶対値の差

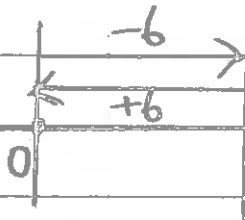
$= +1$

絶対値の大きい方の符号
 $= \ominus (9 - 7)$
↑ 絶対値の差

$= -2$

(3) $(-6) + (+6)$

$= 0$



(4) $(-12) + (+18)$ 異符号どうし

絶対値の大きい方の符号
 $= \oplus (18 - 12)$
↑ 絶対値の差

$= +6$

① 同符号の2つの数の和
絶対値の和に共通の符号を
つける。

② 異符号の2つの数の和
絶対値の大きいほうから
小さいほうをひき、絶対値の
大きいほうの符号をつける。

共通の符号
 $(-4) + (-6) = \ominus (4 + 6)$
たす

絶対値の大きい方の符号
 $(-5) + (+4) = \ominus (5 - 4)$
ひく

P.20 問1

(1) $(\ominus 3) + (\oplus 8)$ 異符号

$= \oplus (8 - 3)$
絶対値の大きい方の符号 どうし
↑ 絶対値の差

$= +5$

(2) $(\ominus 5) + (\ominus 7)$ 同符号

$= \ominus (5 + 7)$
2つの数と同じ符号 どうし

$= -12$

(3) $0 + (-2)$

$= -2$

(4) $(-4) + (+4)$

$= 0$

(5) $(\oplus 15) + (\ominus 8)$ 異符号

$= \oplus (15 - 8)$
絶対値の大きい方の符号 どうし
↑ 絶対値の差

$= +7$

(6) $(\ominus 40) + (\oplus 12)$ 異符号

$= \ominus (40 - 12)$
絶対値の大きい方の符号 どうし
↑ 絶対値の差

$= -28$

(7) $(\ominus 19) + (\ominus 13)$ 同符号

$= \ominus (19 + 13)$
2つの数と同じ符号

$= -32$

(8) $(\oplus 24) + (\ominus 36)$ 異符号

$= \ominus (36 - 24)$
絶対値の大きい方の符号

$= -12$

P. 20 **も、と練習**

(1) $(+37) + (-37)$

$= 0$

(2) $(-105) + (+76)$

$= (-105 + 76)$
異符号どうし
絶対値の大きい方の符号

$= -29$
絶対値の差
い、さんしやう!

$$\begin{array}{r} 105 \\ - 76 \\ \hline 29 \end{array}$$

分数や小数の加法

例4

同符号どうし

(1) $(-0.8) + (-1.5)$

$= (-0.8 - 1.5)$
2つの数と同じ符号

$= -2.3$

異符号どうし

(2) $(-\frac{5}{3}) + (+\frac{1}{4})$

$= (-\frac{20}{12}) + (+\frac{3}{12})$
通分

$= (-\frac{20}{12} + \frac{3}{12})$
絶対値の大きい方の符号

$= -\frac{17}{12}$

<小学校の復習>

① $5.2 - 4.8$

② $4 - 2.6$

$$\begin{array}{r} 5.2 \\ -4.8 \\ \hline 0.4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.0 \\ -2.6 \\ \hline 1.4 \end{array}$$

4は、4.0と一緒だよ!

P. 20 問 2

(1) $(+4.8) + (-5.2)$

(2) $(-4) + (+2.6)$

$= -(5.2 - 4.8)$

$= -(4 - 2.6)$

$= -0.4$

$$\begin{array}{r} 5.2 \\ -4.8 \\ \hline 0.4 \end{array}$$

$= -1.4$

$$\begin{array}{r} 4.0 \\ -2.6 \\ \hline 1.4 \end{array}$$

(3) $(-\frac{1}{5}) + (-\frac{3}{5})$

(4) $(+\frac{5}{8}) + (-\frac{3}{8})$

$= -(\frac{1}{5} + \frac{3}{5})$

$= +(\frac{5}{8} - \frac{3}{8})$

$= -\frac{4}{5}$

$= +\frac{2}{8}$

約分

$= +\frac{1}{4}$

(5) $(-\frac{3}{5}) + (+\frac{1}{10})$

(6) $(+\frac{1}{2}) + (-\frac{3}{7})$

$= (-\frac{6}{10}) + (+\frac{1}{10})$

通分

$= (+\frac{7}{14}) + (-\frac{6}{14})$

通分

$= -(\frac{6}{10} - \frac{1}{10})$

$= +(\frac{7}{14} - \frac{6}{14})$

$= -\frac{5}{10}$

約分

$= +\frac{1}{14}$

$= -\frac{1}{2}$

教科書 P.20 までノートにやったら、

数学スキル P.9 ③⑥ 正の数・負の数の加法②』をやろう!

また、数字の学習ノート (7-7) P.14~P.16 をやろう!!!

P.20 もと練習

$$(3) (-1.3) + (-3.7) \quad (4) \left(-\frac{1}{4}\right) + (+0.75)$$

$$= -(1.3 + 3.7)$$

$$= \left(-\frac{1}{4}\right) + \left(+\frac{75}{100}\right)$$

$$= -5.0$$

$$= \left(-\frac{1}{4}\right) + \left(+\frac{3}{4}\right)$$

$$= -5$$

$$= +\left(\frac{3}{4} - \frac{1}{4}\right)$$

$$= +\frac{2}{4}$$

$$= +\frac{1}{2}$$

<(4)の別の解答>

$$(4) \left(-\frac{1}{4}\right) + (+0.75)$$

$$= (-0.25) + (+0.75)$$

$$= +(0.75 - 0.25)$$

$$= +0.50$$

$$= +0.5$$

答えは同じだね!!